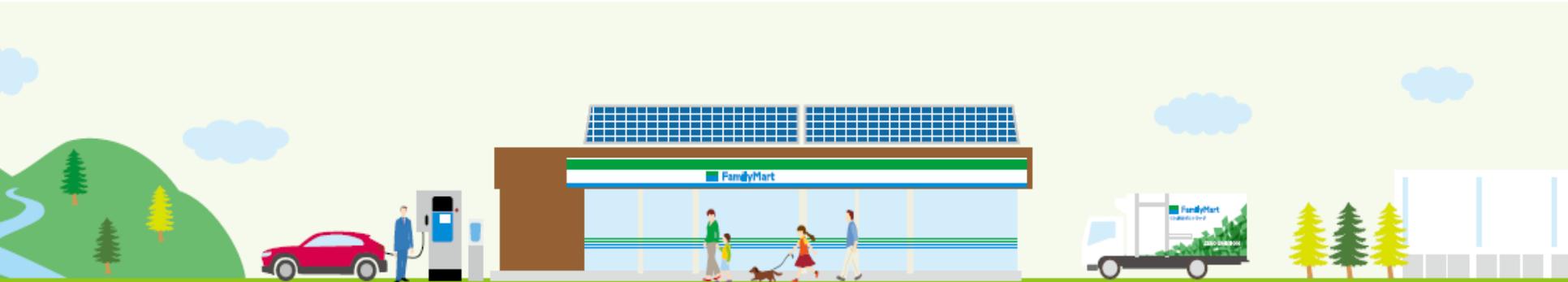




2019年度 サステナビリティ説明会



2020年2月19日
株式会社ファミリーマート

『どこよりも地域から

愛されるチェーンを目指して』

- ・基本理念は不変の価値観
- ・成長の鍵は「地域社会と家族のようにつながる」こと
- ・社会課題の解決に向けて、「待ったなし」
- ・進化し続けながら、
社会とともに持続的な成長を目指します



本日2/19公開予定

「サステナビリティレポート2019」より

1. 新・基本理念および当社の重要課題（マテリアリティ）

2. 重要課題（マテリアリティ）の具体的な取り組み

- ・重要課題 1 : 環境配慮を通じた「地域と地球の未来」への貢献
- ・重要課題 2 : 人に寄り添う地域活性化拠点としての進化
- ・その他重要課題及び基盤の紹介



2019年9月1日、ユニー・ファミリーマート・ホールディングスが、事業会社のファミリーマートを吸収合併。社名を「株式会社ファミリーマート」へ変更。
＝「新生ファミリーマート」として、新たなスタート。

「家族（ファミリー）」

コーポレートメッセージ：あなたと、コンビニに、ファミリーマート

《私たちが大切にしている3つのこと》

1. ファミリーマートは一軒の小さな商店です。その町に暮らす人々と共に生き、生かされています。地域からずっと必要とされる存在であるように、人や地域に寄り添うことで進化し続ける地域密着を、本気で実現します。
2. 来てくださるお客さま一人ひとりに合わせて、全力を尽くすこと。いつでも欲しいものが揃っているだけでなく、新鮮で驚きのある、質の良いものとの出会いがあること。そして、たとえ用事が無いときでも、寄りたくなる場所であることを心がけます。
3. ファミリーマートに関わるみんなが、ひとつの商店を切り盛りする家族のようにつながっていきます。同時に、お客さまにとって地域の家族のような存在を目指します。誰もが安心して暮らすために工夫して、この世の中に便利さだけでなく、生きる豊かさがゆきわたるように。「家族」が幸せである未来に貢献します。

重要課題（マテリアリティ）

5つの重要課題

関連するSDGs

1 環境配慮を通じた「地域と地球の未来」への貢献



2 人に寄り添う地域活性化拠点としての進化



3 「便利で豊かな生活」を実現する安全・安心な商品・サービスの創出



4 お取引先とともに持続可能なサプライチェーンを追求



5 働きがいのある組織風土・人づくり



基盤

- ・加盟店・本部の共同成長
- ・リスクマネジメント・コンプライアンスの徹底
- ・コーポレート・ガバナンスの強化
- ・人権の尊重

- ・SDGsとのつながりを意識しつつ、基本理念を軸にマテリアリティを特定（新生ファミリーマートとして再設定）
- ・各項目の実施計画を策定し、着実な具現化を推進

本日のご紹介

5つの重要課題

関連するSDGs

1 環境配慮を通じた「地域と地球の未来」への貢献



本ご紹介

2 人に寄り添う地域活性化拠点としての進化



3 「便利で豊かな生活」を実現する安全・安心な商品・サービスの創出



4 お取引先とともに持続可能なサプライチェーンを追求



5 働きがいのある組織風土・人づくり



基盤

- ・加盟店・本部の共同成長
- ・リスクマネジメント・コンプライアンスの徹底
- ・コーポレート・ガバナンスの強化
- ・人権の尊重

重要課題 1

環境配慮を通じた「地域と地球の未来」への貢献

企業理念とのつながり「地域に寄り添う」

6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



1990
年代

1997年 太陽光発電パネル設置開始

1999年 ISO14001認証取得
店舗の食品リサイクル開始
環境保全のシンボルマーク「We Love Green」制定

2000
年代

2007年 サラダ容器にバイオマスプラスチック（PLA）導入開始
LED看板の導入開始

2008年 食品リサイクルループに認定

2010
年代

2013年 電気自動車用急速充電器の設置開始

2019年 物流トラックへクリーンディーゼル車の導入開始

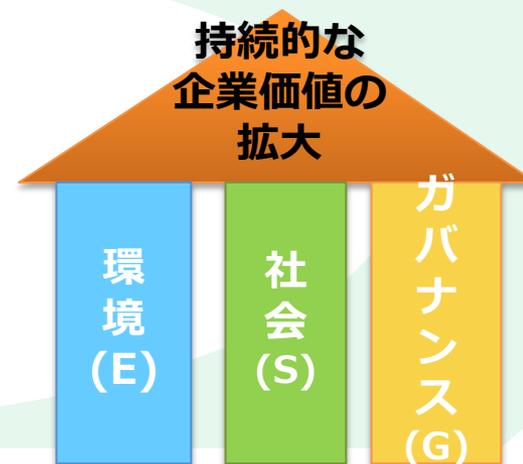
パリ協定

温室効果ガス排出削減に対する
国際社会の合意形成



ESG投資

「環境」「社会」「企業統治」を
重視している企業への投資傾斜



SDGs

2030年までの普遍的な
国際目標となった、
持続可能な経済・社会づくり



『ファミマecoビジョン2050』



～FamilyMart Environmental Vision2050～

温室効果ガス削減

プラスチック対策

食品ロス削減

店舗運営に伴うCO₂

環境配慮型素材使用割合

店舗の食品廃棄物

2030年

2050年

2030年

2050年

2030年

2050年

40%
削減

100%
削減

60%

100%

50%
削減

80%
削減

(2013年比)

(2018年比)

持続可能な社会の創造に向け、中長期の環境目標を宣言

店舗運営に伴うCO₂排出量 (1店舗当たり)



LED照明をはじめとした省エネ設備の導入



- ・CO₂冷媒冷凍・冷蔵機の導入
- ・エネルギーマネジメントシステムの導入
- ・すべての照明をLEDに切替



さらに、サプライチェーン全体のCO₂排出量削減を推進するとともに、SBT (Science Based Targets)の認定を目指す

1 環境配慮 プラスチック対策

環境配慮型容器包装 – オリジナル商品に環境配慮型素材を使用

2018年実績 ▶ 2020年見込み ▶ 2030年見込み

6%

26%

60%

+20%

さらに+34%

2030年

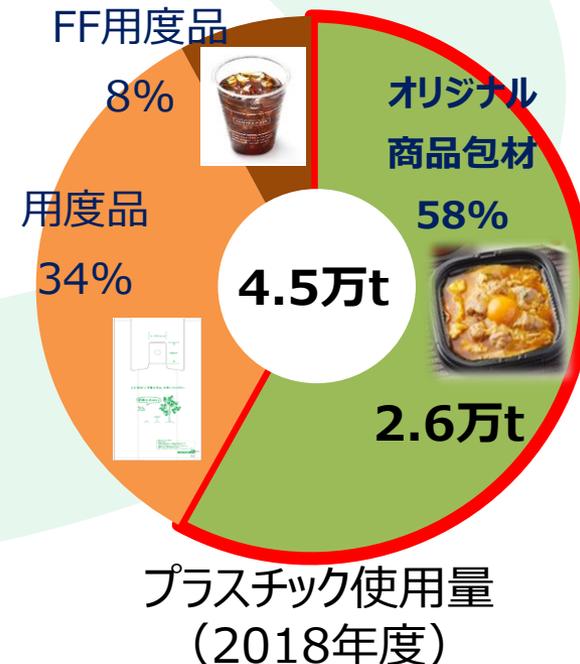
2050年

60%

100%

2020年は
サラダ、弁当、冷し麺
容器を中心に
約20%分を
PLA、再生PET等の
環境配慮型素材へ

2030年までに、おむすび、
寿司、調理パンを中心に
環境配慮型素材を拡大



環境配慮型容器包装使用量

2018年

2020年

2030年

1,600t

⇒ **7,000t**

⇒ **16,000t**

さらに、2020年7月の有料化を機に、レジ袋へバイオマスを30%配合することで、用度品を含む環境配慮割合は70%に

店舗の食品廃棄物削減

2030年

2050年

50%
削減

80%
削減

■ 主要施策

○ 販売方法の見直し

- ・ 季節商品の予約販売強化

2019年度実績 土用の丑 クリスマスケーキ

- ・ おでんのレンジアップ化
- 2020年1月より刷新

廃棄金額	8割減	5割減
加盟店利益	7割増	3割増



○ 製造方法の見直し

- ・ トップシール包装の拡大等により、消費期限を**+1~2日延長**
- ・ 2020年度サラダ、パスタ実施予定。以降、拡大検討

対象商品廃棄金額

2019年度実績 **3割減**

○ 販売期限の見直し

- ・ 廃棄チェック回数を削減し、販売期限を**+2時間延長**

2018年 **6回** ▶ 2019年 **4回** ▶ 2020年 **3回**

対象商品廃棄金額

2019年度実績 **2割減**

さらに、納品期限の見直し等によりセンターロス削減の取り組みも推進

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明



TCFDが提言する情報開示の枠組みにより、「気候変動」が事業にもたらすリスクと機会、その財務面の影響を分析し、情報開示を推進

重要課題 2

人に寄り添う地域活性化拠点としての進化

企業理念とのつながり「地域に寄り添う」

4 質の高い教育を
みんなに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



1990
年代

1993年 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの支援開始
⇒累計13億7千万円を寄付

2000
年代

2006年 店頭募金「夢の掛け橋募金」開始
(国連WFP協会、国土緑化推進機構支援開始)

2008年 おむすび全品にベルマークを表示開始

2009年 ありがとうの手紙コンテスト開始

2010
年代

2017年 サステナビリティ基本方針制定
国連グローバル・コンパクト加入

2018年 サステナビリティ調達原則、
サプライチェーンCSR行動規範制定

「ありがとうの手紙」

2009年に次世代支援を目的に開始
以後、約**10年**にわたる取り組み



延べ応募数は**32万通**超
(2019年の応募数は約**4万通**)

<審査員長> 池上 彰 氏

- ・全国の小学生を対象に、感謝の気持ちを伝えることやコミュニケーションの大切さを学んでもらうコンテスト。
- ・2019年から文部科学省後援事業となり、応募数は4万通を突破。



「ファミマこども食堂」

2019年4月の開始以降、

1年弱で約**310**回開催

約**3,700**人が参加



- ・「オープン型」を基本コンセプトとし、様々な「家族」がファミマのイートインで「交流」し、地域社会の活性化へ貢献。
- ・賛同する加盟店のみでの開催。加盟店のコスト負担無し。

「ファミマサークル」

2019年12月開始

各地域の高齢者の方々をイトインに招き
「免許返納促進」「特殊詐欺防止」の講義を
警察官より聴講するというユニークな取り組み



- ・社会問題となっている高齢者による交通事故、オレオレ詐欺被害防止に地域社会の家族の一員として貢献できることが無いかという視点から企画。
- ・イトインスペースを提供し、警察と共に地域社会の課題解決をサポート。

その他重要課題及び基盤の取り組み

5つの重要課題

関連するSDGs

1 環境配慮を通じた「地域と地球の未来」への貢献



2 人に寄り添う地域活性化拠点としての進化



3 「便利で豊かな生活」を実現する安全・安心な商品・サービスの創出



4 お取引先とともに持続可能なサプライチェーンを追求



5 働きがいのある組織風土・人づくり



基盤

- ・加盟店・本部の共同成長
- ・リスクマネジメント・コンプライアンスの徹底
- ・コーポレート・ガバナンスの強化
- ・人権の尊重

重要課題3

「便利で豊かな生活」を実現する
安全・安心な商品・サービスの創出

■ デジタル推進による利便性の向上

440万
ダウンロード
達成



■ 健康や福祉を向上させる 商品・サービスの提供

「スマートミール」
認証の予約弁当



重要課題4

お取引先とともに
持続可能なサプライチェーンを追求

- お取引先との公正で透明な取引
- 責任あるサプライチェーン
マネジメントの構築



重要課題5

働きがいのある組織風土・人づくり

- ダイバーシティ、女性活躍の推進
- 働き方改革の推進、職場環境の整備
健康憲章の制定

基盤

- ・加盟店・本部の共同成長
- ・コーポレート・ガバナンスの強化
- ・リスクマネジメント・コンプライアンス
の徹底

- ・人権の尊重
国連グローバル・コンパクト加盟企業
として、国際規範を支持
⇒ 今後サプライチェーンでの取り組みを推進

今後のサステナビリティ活動の方向性



サステナビリティ活動を一層進化させることで、
持続可能な社会づくりに貢献し、企業価値向上を実現

